



## 結成10周年記念…北声会合唱団定期演奏会

11月13日(木) P.M 6:30 指揮/石井 歓  
岩手県民会館大ホール (全日本合唱連盟理事長/作曲家)  
千葉了道  
ピアノ/佐藤とし子



### 石井歓氏御紹介

氏は武蔵野音楽大学ピアノ科を卒業後、ミュンヘン国立音楽大学に留学し、オルフに師事して作曲の研究をされた。

帰国後「枯木と太陽」等々々れた合唱作品を数多く発表なされ又オペラ、バレエの作品も多く日本の作曲界の重鎮である。と同時に自作の指揮者としても活躍されている。

現在愛知芸術大学の教授、全日本合唱連盟理事長の要職にある。昨年、私たち北声会合唱団の定演で自作の「風紋」の指揮をされ好評であった。

本年再び、私たちのため来盛、今回は得意のブラームス作曲「ジプシーの歌」を指揮する。



(第9回定演より「風紋」指揮 石井歓氏)

後援/岩手県教育委員会・岩手日報社・岩手放送

## ごあいさつ

10年前、放送合唱団から「北声会」に名を改めて以来、実にいろいろなことがありました。活動が一応安定してきた45年の団体出演、毎年の演奏旅行や各種演奏会、放送出演、録音、48年に詩人草野心平氏をお招きしての「詩と音楽の夕べ」は特に印象深いものでした。

そして昨年は石井歓先生の指揮で歌えたこと。また同じ定演で、始めてオケ伴で歌った「開びやく歌」

「10年といえはひと昔」感に感無量です。この間、のべ200名を超える団員と共に、「北方の声」をはり上げてまいりました。何か個性のある、土においのする合唱団をめざして、さまざまな苦労をしながら活動し続けて参りました。時にきびしい批判、時に暖かい励ましをいただき、千葉了道先生のご指導のもとに、アマチュア精神と家族的なふんい気を大切に合唱芸術を私たちに追求して今日にいたることができました。

この間の、皆さまからお寄せいただきましたご好意に慎んで感謝申し上げますと共に、今後更わらぬご支援を、よろしくお願いいたします。

今夜は、誠にありがとうございました。

## 私と北声会の十年

千葉了道

10周年、いつの間にか10年。東山堂楽器店の二階で北声会として名付けてから10年。毎週木曜の練習日には、どんな事があっても練習しよう、というのが私の念願であった。なんとかそれを実践して来た。

北声会合唱団は家族的集りだとよく言われる。それは良い面であり、時には悪い面と変容する。特に指揮者私と団員との関係は、頼まれたでもない頼んだでもない自然にそうなつて来たのであつて良さもあり欠点もある。

私には、私の曲を歌ってもらえる、かけがえのない大切な合唱団でもある。私の合唱作品はこの合唱団のお陰で作られて来た。この恩返しになんとか色々の立派な合唱曲を数多く演奏させたいと常々考えて来た。

今まで、ちまたの批評も様々であつた。一番耳に残っているのは、「きびさに欠ける」「練習不足」等々。それはすべて指揮者、私が足りないのであつて団員の責任ではない。この声を裏面に受けて、このところ三年程、奮起して細かな練習を積み、中央の指揮者の教えも受けて、どうやら軌道に乗つた。

北声会の理想は、北方的特性をもつた合唱を、ということであつた。表現の適切な言葉はないが北方的という中に直観されるもので充分であろう。年令層も高かつたがこのところ大分若返つた。成年と青年とミックスされた歌声は正に望ましい声である。

10年間、色々の歌を歌つて来た。これからも歌い続け、歩み続けて行こう。20周年までは私は無理であろうが、出来る限り共に合唱音楽を作り続けて行きたい。私には大切な大切な宝、北声会合唱団である。